

とんぐい村の こみ・すく通信

令和元年9月25日発行 第10号
更別村コミュニティ・スクール委員会

みんなの学校応援団 の活動を紹介<その6>

「『個性』ってなんだ」

9月4日。更別小学校の5年生の「道徳」には、上更別小学校の5年生4名も加わって、「さらべつほーぶ」の小林先生（更別農高）、宿田さん、野々村さんによるライフスキルアップ授業が行なわれました。

今回のテーマは「個性」。子どもたちがそれぞれのもつ「個性」について知り、自分を大切に思う気持ちを高め、仲間と互いに認め合う心を育むことがねらいです。



まんが「ドラえもん」に出てくる「のび太」くんの絵を示し、「この人はどんな人？」という発問に始まり、次に自分の個性を考え、それをグループで共有しました。

また、「夏と言えば何？」という発問から共通のイメージを浮かべた仲間を探し、さらに、そうしてできた新しいグループで、それぞれの好きなものや好きなことから、似ているところ、共通の価値を見つけ出すワークショップに取り組みました。



いい所も悪い所も、合わせて「個性」。個性があるのは素敵なこと。個性を生かして協力し合うことの大切さを学びました。

「赤ちゃんふれあい体験」

9月10日。更別中央中学校3年生の家庭科の学習では、10組のお母さん方と赤ちゃんに來校していただき「保育」の学習に取り組みました。子育て支援センター保育士の方々やお母さん方から、赤ちゃんの抱っこや接し方・関わり方を教えていただきながら、手作りの人形やおもちゃ等を使って赤ちゃんと遊びました。

赤ちゃんとのふれあいは2時間という短い時間でしたが、子育ての楽しさや大変さを学ばせていただく時間となりました。



「保育園訪問」

12日には、同じ3年生が、今度はとんぐい保育園を訪問し、園児たちと楽しく遊びました。天気も良かったので、中学生も裸足で園庭に飛び出し、園児と一緒にどろんこ遊びや水遊び。園児ももちろん楽しそうでしたが、中学生もとても楽しそうでした。水の流れる滑り台で、頭から滑り降りる男子も!! 園長先生もおっしゃっていましたが、中学生たちの優しさが、園児たちに接する姿から見てとれました。



↑下着までびしょ濡れ
午後の授業はどうしたのだろう